

KEYWORD TPP11 農林水産業に大きな影響
緩和される?食の安全関連規定 その他の経済連携協定

食べものナビゲーター

FOOD NAVIGATER

「今さら聞けない」「ちょっと気になる」…
食についての基本のキを、毎月1回紹介します。

10月

vol.90 2018年9月17日発行

よみがえったTPP



11カ国の加盟でTPP11が発効

米国の離脱で発効が停止したTPP(環太平洋経済連携協定)ですが、米国抜きでも協定をまとめようと日本政府が働きかけ、残り11カ国で署名にこぎつきました(元のTPPと区別して「TPP11」と呼びます)。

「TPP11」では、TPP交渉で米国の主張によって盛り込まれていた20項目が凍結されました。「削除」でなく「凍結」というのは、米国が復帰したら条項を復活させるためです。凍結項目には、医薬品特許など知的財産権延長の条項などとともに、「ISD」条項(企業が輸出相手国を訴えることができる制度で、問題のある条項のひとつ)が入っているとされています。

「域内貿易自由化のための関税と非関税障壁の原則撤廃」という基本が変わったわけではなく、問題点はTPPと変わりません。



超楽観的な政府の影響試算

農林水産省は2017年12月に、農林水産物の生産額への影響を最大で1,400億円余りと試算しています。その試算は米への影響をゼロと見込むなど、非常に楽観的な推定と国会などで批判されています。

■農水省の農林水産物生産減少額試算

農産物	616億~1,103億円 (1.2~2.1%)
林・水産物	289億~366億円 (3.0~3.8%)



TPP11と米国の要求で、農業はダブルパンチ!!

トランプ大統領はTPP参加の再検討を表明しており、もし米国が戻れば、「ISD」条項などを含む元のTPPがそのまま復活することになります。

米国がTPPに戻らない場合でも、米国が二国間交渉で日本に今まで以上の市場開放を求めてくるのは必至です。その上、TPP11交渉ではTPPで米国に割り当てた輸入枠の再交渉が行われなかったため、TPP11加盟国からの輸入は大幅に増加する見込みです。農産物の輸入は激増し、農業は大打撃をこうむる可能性があります。政府は「攻めの農業」で輸出を増やすといいますが、その保証はどこにもありません。



その他の経済連携協定も…

日本政府は、TPP11以外の経済連携協定も交渉しています。これらの経済連携協定の社会・経済に対する影響も無視できません。すでに妥結して2019年には発効予定の**日欧EPA**(日本EU経済連携協定)は、農業に最大1,100億円の影響があるとされています。米国やEUを含む多国間で進められている**TiSA**(新サービス貿易協定)は、物品以外のすべての経済活動について自由化を図る枠組みです。

■日本が交渉を進める主な広域経済連携協定

	主な相手国	特徴、状態
日欧EPA (日本EU経済連携協定)	EU(欧州連合)	2019年発効予定
RCEP (東アジア地域包括的経済連携)	中、印、豪、韓、ASEANなど	交渉中。TPPのような域内自由化協定
TiSA(新サービス貿易協定)	米、EU、加、豪など21カ国	交渉中。物品以外の全経済活動が対象

緩和される? 食の安全関連規定

食の安全に関わるTPP条項は米国の意見を反映したのですが、TPP11で凍結対象になっていません。米国ほど露骨に規制緩和を求めないとしても、TPP11を足がかりにした多国籍企業の圧力が予想されます。

米国からの規制緩和要求は、今まで以上に強まると考えられます。政府はこれからも「国際平準化」の名で規制緩和を図っていくことでしょう。



TPP11に入っても、食料自給を求めましょう

TPP11に入っても、日欧EPAやRCEPに入っても、商品を選ぶのは最終的には消費者です。少し高くても、国内農業を守るために国産食品を選ぶことが大切です。生産者も安全・安心で、おいしい魅力ある食べものを生産することが、今まで以上に求められます。政府に国内農業の保護育成を求めていきましょう。

パルシステムでは消費者団体や農業団体などでつくる「STOP TPP!! 市民アクション」に参加し、TPP反対の運動を進めてきました。これからも、産直産地とともに国内農業・国内産業を守り、食料自給を高める取り組みをすすめます。



【主な問題点】

- 食品の国際基準に合わせることを強いられ、日本独自の規制や表示が困難になる。
- 通関にかかる時間を48時間以内に収めることが義務づけられ、輸入食品の監視が今以上にできなくなる。

キッチンから考える 31 Think from Kitchen



朝はパン、昼はラーメン、夜パスタ…
「考えてみると、今日はお米を食べていない」という方は意外に多いのでは。最近では糖質制限ダイエットで、ごはんは食べないという人も少なくありません。
「日本人の主食はお米」のはずですが、この現状。ごはんのよさを再確認してみませんか。

今日はごはん(お米)を食べましたか？

「米離れ」っていうけれど…
ごはんを食べるメリットは？

●生活習慣病を予防する

食生活の変化で肉類や油脂類などを摂り過ぎるようになり、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が増えています。
日本人の健康に最も適しているのは日本型食生活です。ごはんを中心に、さまざまな食品を食べることで、肉類や脂肪の摂り過ぎを防ぐことができます。1日3~4杯のごはんは、栄養バランスを考えるうえで最適な量といえます。

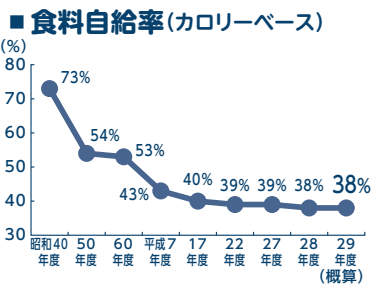
糖質制限ダイエットの功罪

糖質を制限しようと、ごはんの量を減らす人が増えています。しかし、炭水化物(糖質と食物繊維からなる)はエネルギー源、特に脳の栄養になる重要な栄養素です。不足するとやる気が出ない、疲れやすいなどの体調不良のほか、筋肉量が減って脂肪が燃焼しにくいなどの逆効果も。
米は炭水化物の中でもとりわけエネルギーになりやすく、糖質以外にたんぱく質やビタミンB1、食物繊維なども含まれます。糖質の摂りすぎが問題なのですから、制限するなら「主食より間食」を心掛けましょう。



●食料自給率をアップさせる

日本の食料自給率は、現在38%(カロリーベース)。主要先進国では最低レベルです。その大きな原因は食生活の変化。ほぼ100%自給できる米に代わり、飼料などを輸入に頼る畜産物や、油脂類を多く食べるようになったためです。
世界的な異常気象が続くなかで、食料不足は途上国の問題とばかりいえなくなっています。食料を他国任せにする危険性を、私たち消費者も真剣に考え直す必要があるのではないのでしょうか。



水田は小さなダム

水田は洪水や地滑りなどを防ぐ、小さなダムの役割を果たしています。また、さまざまな生きものの住みかでもあります。生きものたちは、田んぼの土づくりや、米の害虫を食べるなど米づくりを助けています。



パルシステムは耕作放棄地を活用した飼料米で育った「こめ豚」を生産。自給率アップに貢献している

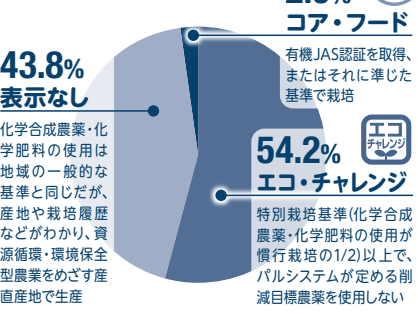
安全・安心とおいしさが自慢です！

パルシステムのお米

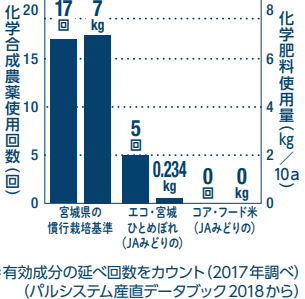
ごはんを食べることは私たちの身体を守るだけでなく、日本の農業や食文化を守ることにもつながります。このためパルシステムでは、
・化学合成農薬や化学肥料の使用をできるだけ減らす
・たい肥や有機質肥料など地域の資源を循環させる
米づくりを行っています。その結果、産地の田んぼにはさまざまな生きものが戻り、地域の自然環境を守っています。



■栽培別の出荷量



■化学合成農薬・化学肥料の削減量



おすすめします! 無洗米

研がずに炊ける無洗米。とぎ汁が出ないので、環境にも優しいエコなお米です。しかもパルシステムの無洗米は、多くのみなさんに食べていただけるよう、市価より安い値段設定になっています。ぜひお試しを。



新米をおいしく食べるために

無洗米、普通精米を問わず、お米は生鮮品です。精米後50日くらい(春夏は約30日)で食べきるようにしましょう。

炊くときは…

- ・ごしごし洗わない 米粒が割れたり、炊き上がりがベタつきます。
- ・炊飯前に30分~1時間、冷たい水に浸す 粘りのあるふっくらした炊き上がり。
- ・いつも通りの水加減で パルシステムでは出荷時に水分量を調整しているの、新米だからと水を減らす必要はありません。
- ・食べきれない分は小分けして冷凍 温かいうちに小分けし、保冷材などで急冷して冷凍庫へ。炊き立てのおいしさを保てます。冷蔵保存はボンボンになるので避けましょう。



食ナビNEWS

パルシステム東京からのお知らせ、最近のニュースに関連した情報をお伝えします。

■「除草剤ラウンドアップでガンに」勝訴

悪性リンパ腫になったのは、除草剤ラウンドアップ(グリホサート)のせいと訴えた米国での裁判で、原告が勝訴しました。被告の製造元モンサント社を買収して間もないバイエル社(独)は因果関係を否定し、上訴する意向です。WHOの下部機関、国際がん研究機関(IARC)はグリホサートを「ヒトに対しておそらく発がん性がある」と評価し、白血病とリンパ腫に限定的な証拠があるとしています。

■ゲノム編集でも「日米 vs EU」の差

ゲノム編集などの新技術によって開発された作物や家畜の扱いをめぐる、各国で検討が進められています。規制しないことを早々に決めた米国に対し、EUは遺伝子組み換えと同様の規制をする方向です。日本では検討を始めたばかりですが、環境省が規制しない方向で議論しています。さまざまな問題点を抱えたゲノム編集などの遺伝子操作技術には、慎重な審査と規制、表示が必要です。

■遺伝子組み換えワタの種子にご注意

遺伝子組み換えのワタ(綿花)の種子が出回っています。国内で栽培される和ワタと洋ワタの2種類のうち、組み換え種が見つかっているのは洋ワタです。震災復興などでワタの栽培が増えましたが、その中に遺伝子組み換えのワタが混入していた可能性があります。種子会社は輸入時にチェックしていますが、個人間で種子を譲り受ける場合には、種子の由来を確認しましょう。和ワタなら心配ありません。